

基本的な面接のマナー



座り方にも注意しましょう！

- ① 背もたれにもたれず、背筋を伸ばす。
- ② あまり深く腰掛けない。(座席の3分の2くらいまでに腰掛ける)
- ③ ひざができるだけ直角になるような位置に腰をおろす。
- ④ 男性は、こぶし一つ入るくらいひざの間を開け、ひざ下をまっすぐおろす。
- ⑤ 女性は、ひざをつけてまっすぐおろすか、少し斜め下におろす。
- ⑥ 男性は、手をひざのすこし上あたりに置く。
- ⑦ 女性は、手をくみ自然に太ももの上に置く。
- ⑧ 顔はあごを引いてまっすぐ前を見る。

面接によく出る質問 20

	質問	回答
1	自己紹介をして下さい。	名前、住まい、最終学歴、職務経歴。これまでどんな業務に携わり何をきてきたのか、どんな実績をあげたのかを簡潔に話す。性格、趣味。
2	前職を辞めた理由は。	採用しても同じような理由で辞めてしまうようなことにならないかを確かめたい。転職の目的を明らかにすることが目的。
3	当社を希望した理由は。	どうして応募する職種を選んだのか。面白いところ、つらいところ。自分のどんなところがその仕事に向いていると思うか。この仕事につくためにどんな努力をしてきたか。 応募する仕事に活かせる経験。自分のこれまでの経験をベースに、この企業では何を活かせると感じたのか。 会社の魅力。業界、会社の研究をしておく。会社研究にはどのような手段、材料を活用したか。会社概要。事業内容や仕事内容まで把握できたか。会社研究の結果、どんな点に大きな興味を抱いたか。
4	自己 PR をして下さい。	仕事に関連したこと。具体的なエピソードを話す。応募する仕事に活かせることを強調する。
	これだけは誰にも負けないというものは？	具体的なエピソードを話し、それが仕事上でどのように役に立つか話す。題材は仕事の実績やスキルに限らず、性格、趣味などでも良い。
	あなたに足りないものはなんですか？	現在不得意な部分は正直に話し、前向きに努力する姿勢を示す。得意分野を活かして、不得意分野をどうカバーしていくかを答えても良い。
	この職種があなたに適していると思う理由は？	自分の性格面と経験してきた実務の両面から話す。具体的なエピソード、裏づけを絡めて答える。
5	前職の仕事内容は。	経験やスキルを具体的に。業務の流れ。どんな役割を担っているのか。 仕事の年数。習熟度。 扱ってきた商品の特徴。営業方法。応募先の商品との共通点など。 結果だけでなく、経験をどのように生かしたいかと話す。

	仕事上の実績・業績。	売上の数字、担当した製品。 最も貢献したと思えること。 役職経験、部下の指導。 受賞歴、作品
6	入社したらどんな貢献ができますか？	専門性がある職種に応募している場合の確認や、応募者のイメージと実際の仕事内容との間のズレの確認。 特にやりたいと考えている業務、分野。 仕事に何を求めるか。 過去の経験をどう生かそうと考えているのか。
	入社後どのような仕事がしたいですか？	具体的なビジョンを聞く質問。あくまでも仕事上のことで応える。「～をしたい」という意思とその理由、実現に向けての問題点、課題もあわせて話す。
7	当社の印象は。	どんな点に最も魅力を感じているか。製品や店舗にどんな印象をもったか。印象のギャップは？
8	今まで経験した困難は何か。それをどうやって乗り越えたか。	
	成功例・失敗例。	成功した理由。もっと良い結果をもたらすには。 失敗した原因、改善点。学んだこと。
9	仕事上のモットーは。	何を目的としてはたらいっているか。 何を大切にしているか。 どのようなことに気を配って仕事を進めているかを考えると答えやすい。 理由も合わせて述べる。
	あなたにとって仕事とは何ですか？	仕事観。まず「自分の成長です」などと簡潔に答えて、その理由を話す。
10	退職後のブランクの期間は何をしていましたか？	どんな経験であれ、自分にとってプラスになり今後に生かせる事を伝える。
11	当社以外にどこか応募していますか？	他に応募している会社があれば正直に。希望に一貫性があるかどうかのカギ。応募している会社の共通点。 今受けているところが第一志望だと必ず伝えよう。その理由も話すこと。

12	今関心があることは？	最近のニュース、できごとから自分が関心を持っていること。 応募する仕事に関係のあることを選んでも良い。
	仕事以外で関心があることは？	題材は社会情勢だけでなく、趣味でもボランティアでも何でも良い。身近な話題を持ってきて、自分なりに簡潔に分りやすく話す。
13	あなたの長所・短所はどういうところですか？	仕事観、転職観を踏まえて、仕事に関連させてアピール。具体的な事例を挙げる。 短所は、仕事上、生活上で支障とならないようにどうカバーしているかということまで話す。
14	今後の目標は何ですか？	どんなキャリアプランを描いていて、どうスキルアップしていきたいのかを整理しておく。どんな分野で、どういったキャリアを形成していきたいのか。なりたい自分。 仕事上の目標として何を実現したい？
15	いつ頃入社できますか？	
16	給料はどのくらいを希望しますか？	基本的には給料の具体額を提示されてから話す。 自己分析能力を問われている時は金額とその根拠を述べる。 前職を踏まえて： 残業手当や家族手当などを含まない基本給は？ 歩合給などの場合、平均。 仕事量、業績に見合った給与？ 賞与を含めた年収は？ 希望額： 業界、職種における給与相場。 前職の給与は世間一般より高いか低いかな。 希望給与に見合うだけの貢献ができる裏づけがあるか。上乗せを狙うとしたら、あといくら欲しいか。
17	健康状態はどうですか？	「良好です」と答えるのが無難。健康維持のために気をつけていることも話せると好印象。
18	パソコンはできますか？	汎用ソフトのワードやエクセルについては具体的に答えられるように。
19	趣味・休日の過ごし方は？	

	1ヶ月の休みがとれたら？	どんな発想の持ち主か。 自己啓発のために取り組んでいることは何か。 疲れを取るためにどんな方法をとっているか。 長年抱えている夢、希望は何か。
20	何か質問はないか。	業務に関するもの。 一日の仕事の流れ。何人でこの仕事をしているのか。 福利厚生、残業の有無、研修制度などについてばかりは、熱意を感じられない。
	競合他社について。	自社への志望度の高さも評価のひとつ。競合他社と応募先企業の違いを事前に理解しておく。
	どうしてこの業界を選んだのですか？	仕事選びの動機の裏づけ。 異業種からの応募者に対しては安易な仕事選びをチェックする目的。 業界の特徴。現在の動向。 希望職種は業界内ではどんな位置付けか。 業界の主な商品、製品。
	一貫して追及してきたテーマは？	専門分野の中でも、特に興味のあるテーマを聴く質問。応募先との関連性を考慮。
	当社の商品(店舗)を利用したことがありますか？	商品(店舗)を利用したことがあるか。印象、従業員の働きぶり。製品に関して改善すべき点は？他の店舗、他社製品との相違点は。
	残業があってもかまいませんか？	仕事への意欲を探る質問。 仕事に対する姿勢として、残業することをどのように考えるか。 連日の残業や休日出勤などが可能な家庭環境か。 残業手当を生活費の一部として期待しているか。
	情報収集はどのように行っていますか？	業界の情報、経済の情報、趣味やプライベートの情報の3種類。「なぜ」などと更に聞かれても答えられるように。
	人間関係を良くするため、気をつけていることは？	自分の経験を踏まえて。失敗談を題材にして学んだこと、以後気をつけることなど、説得力が出る。

面接開始時間

企業の所在地、交通手段、所要時間の確認

持ち物リストの作成

当日の訪問先担当者名、連絡先電話番号

自己分析

何故転職しようと思ったのかを振り返る

今回の転職の目的が何なのかをはっきりさせておくこと。

自分が今まで何を経験してきたか、今後何ができるのかというアピールポイントを整理する。

新しい会社でどんなパフォーマンスを発揮できるのか、具体的に考えてみてください。

即戦力としての活躍を求められることが多いため、何ができるかをきちんと説明できるように準備しておく。

企業研究

自分が希望する会社の事業内容を把握する

最低限 HP はみしておく

求人票に乗っている内容の確認をする

その会社の商品に触れておく

質問内容、回答を振り返り確認しましょう。何が応えられなかったのか振り返ることで次回の面接に活かすことができる。